

国宝「聖徳太子絵伝」のインタラクティブコンテンツがウェブ版として公開開始

— いつでも・どこからでも・4か国語で鑑賞が可能に！ —

独立行政法人国立文化財機構（本部：東京都台東区）文化財活用センター〈ぶんかつ〉では、東京国立博物館が所蔵する国宝「聖徳太子絵伝」を題材に、2018年よりインタラクティブコンテンツを制作・公開してきました。このたび〈ぶんかつ〉は、2025年7月まで法隆寺宝物館中2階で公開してきた「8Kで文化財 国宝 聖徳太子絵伝」をウェブ版に改修し、新たに「デジタルアートビューア 国宝 聖徳太子絵伝～太子の生涯と超人伝説～」として、2026年1月よりオンライン公開を開始しました。本コンテンツは、超高精細画像を用いて、展示室ではかなわなかった作品の細部まで鑑賞できるデジタル鑑賞ツールです。これまで来館しないと楽しめなかつた本コンテンツが、ウェブ版の公開により、学校やご自宅などからもPCやスマートフォンを通じて、いつでもどこでも利用可能となりました。さらに、従来の日本語、英語に中国語、韓国語を加えた4か国語対応とし、国内外の、より多くの皆さんにお楽しみいただけるコンテンツへと進化しています。（※1）



「デジタルアートビューア 国宝 聖徳太子絵伝～太子の生涯と超人伝説～」トップ画面

URL: <https://edu-cpcp.nich.go.jp/eden/>

〈デジタルアートビューア 国宝 聖徳太子絵伝～太子の生涯と超人伝説～〉とは？

東京国立博物館所蔵の国宝「聖徳太子絵伝」は、かつて奈良・法隆寺の絵殿（えでん）を飾っていた大画面の障子絵です。平安時代・延久元年（1069）、絵師・秦致貞（はたのちてい）によって描かれました。聖徳太子の生涯を絵画で表わした、いわゆる「聖徳太子絵伝」のなかでもっとも古く、初期やまと絵の代表作にあげられます。しかし、長い年月を経て画面のいたみが進み、現在ではくわしく鑑賞することがかないません。



国宝「聖徳太子絵伝」 秦致貞 筆／平安時代・延久元年（1069）／綾本着色／全10面／東京国立博物館（N-1）

詳細情報はこちら▶▶ https://colbase.nich.go.jp/collection_items/thm/N-1?locale=ja

プレスリリース

作品保護のため公開機会が限られていた同作品を、身近に鑑賞していただけるようにと 2018 年に開発した「8K で文化財 国宝 聖徳太子絵伝」は、高精細画像を大型の 8K モニターに映し出し、鑑賞者自身の操作により、肉眼では見ることのできないレベルまで絵画を拡大して自由に鑑賞できるアプリケーションでした。これまで法隆寺宝物館中 2 階にて 7 回にわたり公開され、多くの方々に楽しんでいただきましたが、2025 年 7 月をもって館内での公開を終了しました。

このたび公開される「デジタルアートビューア 国宝 聖徳太子絵伝～太子の生涯と超人伝説～」は、会場で公開されてきた同コンテンツをウェブ用に改修し、中国語、韓国語を追加搭載したアプリケーションです。

見どころポイント

① 超高精細画像が手元で楽しめる！

本コンテンツでは会場公開時と同様に、1 面あたり約縦 1.9m × 横 1.5m の画面を 28 区画に分割して撮影した、1 面約 18 億画素、2 面で約 36 億画素という超高精細画像データを用いており、鮮明な画像で作品の細部まで鑑賞することが可能です。

② いつでも、どこからでもアクセスが可能！

来館がかなわなくとも、時間と場所を選ばずご自宅の PC やスマートフォンから自由に操作・鑑賞できる点が、新たな魅力として加わりました。

③ 見やすく、ユーダーフレンドリーな UI デザイン！

画面のトップページは作品の画像をスライドショーで観たい場面を大きく表示し、聖徳太子の生涯に起こった 60 のエピソードの中から厳選した 12 の超人伝説は、魅力的なイラストとともに表示。PC やスマート画面からでも興味のあるエピソードが見つけやすいデザインです。



早わかり！超人伝説 12 選 トップ画面

たとえば、トップ画面で太子 33 歳の「日本初の憲法制定」を選ぶと、有名な「十七条憲法をつくる」エピソードが描かれた場面にズームインし、即座に該当場面の閲覧ができ、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 か国語で解説を読むことができます。

プレスリリース



太子が「十七条憲法をつくる」場面（第6面）

The image shows four panels of a digital exhibition interface for the 'Illustrated Biography of Prince Shotoku'. Each panel displays a different view of the same scene from the 'Seventeen-Article Constitution' panel (Panel 6). The panels are arranged in a 2x2 grid. The top-left panel is in Japanese, the top-right in English, the bottom-left in Chinese, and the bottom-right in Korean. Each panel includes descriptive text, episode details, and viewer guides.

全ページが日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語に対応

いくつかの場面にはクイズもあり、楽しみながら作品を鑑賞できます。たとえば、超人的能力を発揮し「空中浮遊する太子」の場面では、クイズの答えの箇所を拡大すると、実作品が展示室に展示されても肉眼でははっきりと見ることは困難なほほえむ太子のかわいらしい姿が見えるはず。



超人的能力で空中浮遊する太子を拡大すると、そこには、ほほえむ聖徳太子が！（第1面）

ほかにも、作品の来歴や聖徳太子に関連する年表など、作品の理解につながる情報が満載です。世界中のどこからでも、いつでも、さまざまな角度から国宝「聖徳太子絵伝」をお楽しみください。

プレスリリース

コンテンツ概要

名称：ウェブ版アプリケーション 「デジタルアートビューア 国宝 聖徳太子絵伝～太子の生涯と超人伝説～」

URL: <https://edu-cpcp.nich.go.jp/eden/>

企画・監修：東京国立博物館、文化財活用センター

デジタルコンテンツ制作：文化財活用センター、NHKエデュケーションナル

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語

推奨環境 ※1

以下の環境下でご利用されることを推奨します。

- ・インターネットに接続されている端末であること。
- ・10インチ以上の画面サイズ
- ・1366×768ピクセル以上で横表示ができること
- ・タッチパネル若しくはマウスポインティングデバイスが使えること
- ・すべてのOS・ブラウザ・デバイスで動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

文化財活用センター



2018年に国立文化財機構に設置された、文化財活用のためのナショナルセンターです。「文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくる」というビジョンを掲げ、「ひとりでも多くの人が文化財に親しむ機会をつくる」ことをミッションとして、さまざまな活動を行っています。

文化財活用センター(ぶんかつ)
WEBサイト
<https://cpcp.nich.go.jp/>

X(Twitter) @cpcp_nich
ぶんかつ【文化財活用センター】
https://x.com/cpcp_nich

YouTube @cpcpnich
ぶんかつ【文化財活用センター】
<https://www.youtube.com/>

Instagram @cpcp_nich
ぶんかつ【文化財活用センター】
https://www.instagram.com/cpcp_nich/

◇本件についての取材・お問い合わせ◇

国立文化財機構 文化財活用センター

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館東洋館5階

E-mail:cpcp@nich.go.jp TEL:03-5834-2856(直通) FAX:03-5834-2857